令和８年度

高梁市地域おこし協力隊　募集要項

「コミュニティ助産師」

◆ 岡山県高梁市について

高梁（たかはし）市は岡山県の中西部に位置し、美しい山々と清流に囲まれた自然豊かなまちです。市の中心部にある「備中松山城」は、日本で唯一現存する山城として知られ、雲海に浮かぶ幻想的な姿は「天空の城」とも称されています。また、日本遺産「吹屋」や歴史ある町並みが残る「紺屋川美観地区」、国指定重要無形民俗文化財の「備中神楽」など、歴史と文化を大切にしています。

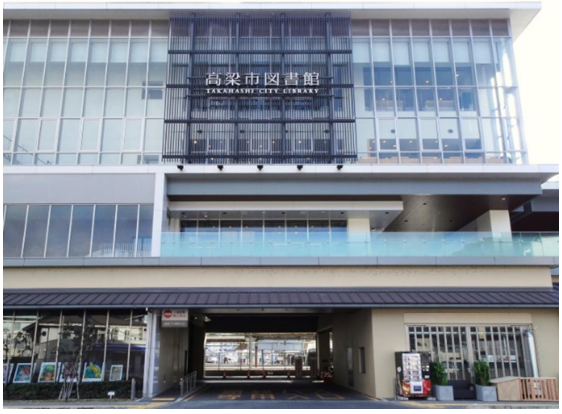
交通の面では、中心市街地に JR 備中高梁駅があります。岡山駅から特急電車で約 30 分・各駅停車で約 1 時間で到着するため、都市部からもアクセスしやすいことが魅力です。

また、備中高梁駅には駅直結の図書館があります。書店やカフェも併設されており、仕事でもプライベートでも充実した時間を過ごすことができます。

高梁市は、地域資源を活かしたまちづくりに積極的に取り組んでいます。新しい挑戦を応援する風土があり、地域の人々と交流しながらのびのびと暮らせるまちです。

地域おこし協力隊として、このまちで挑戦したいあなたを応援します。

［高梁市街地の様子］



［駅直結の高梁市図書館］

◆ 募集する背景

――助産師と共につくる、高梁市の未来

高梁市は現在、加速する人口減少と少子高齢化という大きな課題に直面しています。特に、平成 25 年に市内で分娩の取り扱いができる産婦人科医療機関がなくなって以降、本市は「産科空白地帯」となりました。また、直近では婦人科を扱うクリニックも閉院しています。

医療機関の新規開設や誘致が現実的に難しい中で、これから子どもを迎えようとする世代にとって、この現状は大きな不安要素の一つとなっています。

妊娠・出産という人生の大きな節目において、身近に専門家がいないことは、身体的な負担だけでなく、孤立感や精神的な不安を増幅させかねません。市では、産後ママ安心ケア事業を実施していますが、市内で利用できる施設がないため市外の医療機関へ委託している状況にあり、「もっと身近な場所で、必要な時に、すぐに受けられるケア」の体制整備が急務となっています。

また、産婦人科医療の不在は、単に出産場所の問題に留まらず、思春期の教育や更年期といった「生涯を通じた健康支援」の希薄化にも直結しています。

そこで高梁市では、この課題を解決する鍵として、将来的に市内での助産院開設を見据えながら、住民と医療・行政・地域コミュニティを結ぶ架け橋となる「**コミュニティ助産師（地域おこし協力隊員）**」を募集します。

私たちが目指すのは、「医療の補完」ではありません。

行政や消防、既存の医療機関等と手を取り合い、高梁市ならではの「新しい安心のカタチ」を共に創り上げることです。

＊地域に根差した「助産師がいる」という、安心感の醸成

妊娠・育児のことを日常的に相談できる「コミュニティ助産師」が地域に根付き、赤ちゃん訪問やプレママ相談を通じて、子育て家族の一番近い伴走者になること。

＊生涯にわたるウェルビーイングの実現

思春期から更年期まで、全ての人が自分らしく健やかに暮らせる包括的なサポート体制があること。

＊強固な「安全のネットワーク」構築

病院（点）と生活（面）をつなぎ、緊急時でも消防や近隣自治体の医療機関ともスムーズな連携が取れていること。

これらを行政とともに構築し、高梁市に欠かせない存在としての「助産師」として、志の高い方の応募を心よりお待ちしています。

あなたの専門性が、高梁市で暮らす家族の、そしてこれからの未来を担う子どもたちの大きな支えとなります。

◆ 地域おこし協力隊としての３年間について

市民に寄り添い、各種専門機関とも連携しながら活動していただきます。
主に以下を活動内容とします。

〇 市と協働したママサポ助産師活動
→ プレママ相談や母乳育児相談への対応、赤ちゃん訪問への同行

〇 女性の健康づくりに関する活動
→ ライフステージに応じた包括的な「女性の健康づくり」の展開

〇 次世代の健康を守る「プレコンセプションケア」の推進
→ 思春期教育の充実や、妊娠前からのからだづくり、ヘルスリテラシーの向上など

〇 市内医療機関等との関係づくり
→ 市内の医療機関や消防署（救急）との繋がりをもち、地域おこし協力隊卒業後も連携して活動を推進できる体制をつくる

〇 職員のスキルアップ支援
→ 助産師としての専門性を生かし、こども家庭センター職員や消防職員のスキルアップ支援を行う

その他、関係者と協働しながら随時活動を組み立てて行きます。
高梁市地域おこし協力隊全員に共通する活動としてのまちづくり活動や、市の PR 活動等も行います。

［赤ちゃん訪問や乳幼児検診の様子］

○ １年目：関係各所とのネットワークを構築し、活動基盤を確立する。

着任後の１年間は、高梁市の現状を深く理解し、専門職として地域に受け入れられるための「信頼の土台作り」に専念していただきます。

まずは、高梁市健康づくり課や子育て支援センターのスタッフと共に活動し、行政保健師・助産師等の活動について理解を深めてください。プレママ相談や母乳育児相談、赤ちゃん訪問に同行することにより、地域住民のリアルなニーズも把握できるようになります。

市内の医療機関や消防署とも関係をもち、産婦人科医療機関がない高梁市においての出産・育児・健康づくりに関する活動基盤を整えてください。

○ ２～３年目：市・医療機関・地域と協働し、自立した活動を行う。

１年目で整えた活動基盤を軸に、自ら地域に出て活動していただきます。行政や医療機関、地域コミュニティと関わりながら、「コミュニティ助産師」としての専門性を発揮し、地域課題に対する独自の解決策を実践していきます。

また、任期終了後の自立に向けた動きも、大切な活動のひとつです。地域おこし協力隊の３年間で得られた経験を元に、あなたが”高梁市になくてはならない助産師”としてあり続けられるよう、行政や医療の枠を超えた”コミュニティ助産師のかたち”を一緒に考えて行きましょう。

［令和７年に新しくなった子育て支援センターには多くの親子が集まります］

［学校や地域での出前授業の様子］

◆ 任期後の姿

地域おこし協力隊の任期は最長３年です。任期中に実現したいビジョンが生まれた場合は、自ら起業することも可能です。

また、ご自身のスキルや資格、任期中の成果をもとに、行政や市内医療機関と連携した道も考えられます。

◆ 受け入れ体制

高梁市健康づくり課や、消防署、地域医療機関、地域ボランティアの方々と協力・連携しながら業務を行っていただきます。

また、高梁市では、令和８年４月現在８名の協力隊員が活動しています。活動テーマは隊員それぞれ異なり、「防災」「情報発信」「高校魅力化（教育ハウスマスター）」など様々です。それぞれのテーマに添った活動を中心に、協力隊員同士で連携した活動などもあります。活動には、地域おこし協力隊コーディネーターが伴走します。日々の活動内容の相談や研修、協力隊員同士の情報交換の場づくりなどを行っており、協力隊員が孤立しない仕組みを整えています。

［私たちが活動をサポートします！］

１，募集内容及び活動地域

高梁市地域おこし協力隊員として、以下の内容に取り組む方を募集します。

活動内容	「コミュニティ助産師」として、主に以下を活動内容とします。 ○ 市と協働したママサポ助産師活動 ○ 女性の健康づくりに関する活動 ○ 次世代の健康を守る「プレコンセプションケア」の推進 ○ 市内医療機関等との関係づくり ○ その他、関係機関と協働した、専門スキルを活かした活動 また、高梁市地域おこし協力隊員の共通ミッションとして、以下のものがあります。 ○ まちづくり・コミュニティ活動の支援 ○ 地域資源の発掘及び振興に関する活動 ○ 集落の維持活性化支援に係る活動 ○ 地域の情報発信に関する活動
求める人材	[必須条件] ○ 助産師免許があること ○ 産婦人科医療機関等で８年以上の実務経験があること [歓迎条件] ○ プレコンセプションケアの普及活動を軸に、妊娠出産に限らず女性の健康づくりに関心が高いこと ○ アドバンス助産師の認定があること [高梁市地域おこし協力隊員として求める人物像] ○ 関係者や地域の方との対話を大切にし、信頼関係を築きながらコミュニケーションを取ることができる方 ○ 自分なりの意見をもちながら、周囲と協働できる方 ○ その場の状況に応じて、臨機応変に対応できる方
活動地域	高梁市内全域 ＊ 着任後一定期間（３～６ヶ月程度）は、地域を知るために関係団体等の活動にも参画し、課題の調査と計画作成に取り組んでいただきます。 計画策定後は、地域や関係機関と連携しながら課題解決に向けた活動を行っていただきます。

２．応募資格

次の条件を全て満たす方が応募できます。

（１）年　　齢：問いません。

（２）地域要件：現在、３大都市圏をはじめとする都市地域等（過疎、山村、離島、半島などの条件不利地域を除く）に在住しており、委嘱後、高梁市に住民票を異動し生活拠点を移す方。
（詳細な地域要件については、お問い合わせください。）

（３）助産師免許を有しており、産婦人科医療機関等で８年以上の実務経験がある方。

（４）基本的なパソコン操作（必要書類の作成、SNS での情報発信等）のできる方。

（５）普通自動車運転免許を取得している方。

（６）地域になじむ意思があり、住民とともに地域活性化に取り組み、地域を元気にする意欲のある方。

（７）地域おこし協力隊としての任期終了後も高梁市への定住意思のある方。

（８）心身とも健康で、体を動かすことや、自然を楽しむことが好きな方。

３、活動条件等

雇用形態	高梁市地域おこし協力隊員として市長が委嘱します。 （市との雇用関係はありません。ご自身で国民健康保険・国民年金に加入していただく必要があります。）
委嘱期間	○ 委嘱時期は令和８年 10 月以降です。それ以降に採用決定した場合は、採用決定日から２ヶ月以内を予定しています。 ○ 委嘱期間は、委嘱の日から委嘱した年度の年度末までとします。 ただし、活動に取り組む姿勢や成果等を勘案し、年度ごとに更新し、最長３年まで期間を延長できます。
活動時間	８時間×２０日（月１６０時間）を基本としています。 （活動時間帯は、活動内容によって変動します。）

４．処遇・福利厚生等

報償費	月額２６６，０００円 ※ 報償費は変更となる場合があります。 ※ 報償費から所得税を源泉徴収した金額を支給します。市との雇用関係はありませんので、社会保険料等の源泉徴収は行いません。
活動費	活動費助成金として予算の範囲内（年額 170 万円以内）で助成します。 対象となる主な経費は次のとおりです。 ○ 家賃（月額上限 30,000 円） ○ 活動用車両の燃料費（25 円/km、月額上限 30,000 円） ○ 活動用車両のリース料（月額上限 30,000 円） ○ 活動用車両の自動車保険（任意保険）料（月額上限 5,000 円） ○ 携帯電話使用料（月額上限 3,000 円） ○ インターネット利用料 ○ 視察・研修等に要する経費 ○ 活動に必要な資機材費 ※ その他活動に必要な経費については、事前協議の上、予算の範囲内で経費の対象とします。
その他	○ 着任に要する経費（引越し費用等の実費）として、20 万円を限度に着任時１回限り支給します。 ○ 協力隊活動に支障がない範囲で、副業や起業に向けた活動が可能です。

５．応募について

（１）募集人数

１名

（２）募集期間

随時募集（ただし、採用が決まり次第受付を終了します。）

（３）提出書類

○ 高梁市地域おこし協力隊員　応募用紙

○ 住民票の写し

○ 運転免許証の写し（券面記載事項に変更内容がある場合は、裏面も添付してください。）

※ マイナ免許証の場合は、お問い合わせください。

○ 助産師免許証の写し
○ その他資格証明書の写し
※ 提出いただいた書類は返却しません。

（4）提出方法
高梁市協働定住課へメール又は郵送してください。

（5）事前面談（任意）
希望者は、応募前の事前面談（オンライン可）が可能です。希望に応じて、地域おこし協力隊に関しての説明、市内の案内、関係者等との面談などに対応します。日程は希望者と相談のうえ決定します。
県外在住の方が事前面談等で高梁市を訪れる場合は、補助金を活用し宿泊費等の一部助成を受けることができます。（詳しくはお問い合わせください。）

6．選考の流れ

選考については以下のとおり実施します。なお、成績等の選考内容についての開示はいたしません。また、応募に要する経費（提出書類、選考に要した交通費等）は全て応募者の負担となります。

（1）第１次選考（書類審査）
応募書類をもとに、書類審査を行い、審査結果を速やかに文書で通知します。

（2）第２次選考（面接審査）
第１次選考合格者について、自己ＰＲ・プレゼンテーションを含めた面接審査会を第２次選考として行います。審査結果は速やかに文書で通知します。
面接審査会の日時及び場所は、第１次選考合格者に別途通知します。

（3）採用決定（内定）
隊員候補者と協議のうえ、委嘱年月日を決定します。
また、着任後スムーズに協力隊活動が行えるようにするため、着任までの間に、活動方針等について打ち合わせを行います。

◆問い合わせ・書類提出先◆
高梁市 市民生活部 協働定住課 定住推進係
〒716-8501　岡山県高梁市松原通 2043
Tel：0866-21-0282
Mail：kyodoteiju@city.takahashi.lg.jp